

# 本検討会について

## 1. はじめに

近年の記録的豪雨による災害など、自然災害への対策、防災行動の判断等、年々難しい課題となってきた。このような状況の中で、国土交通省は、被害の発生を前提とし先を見越した対応を目的とした「事前防災行動計画（タイムライン）」の作成を進めている。

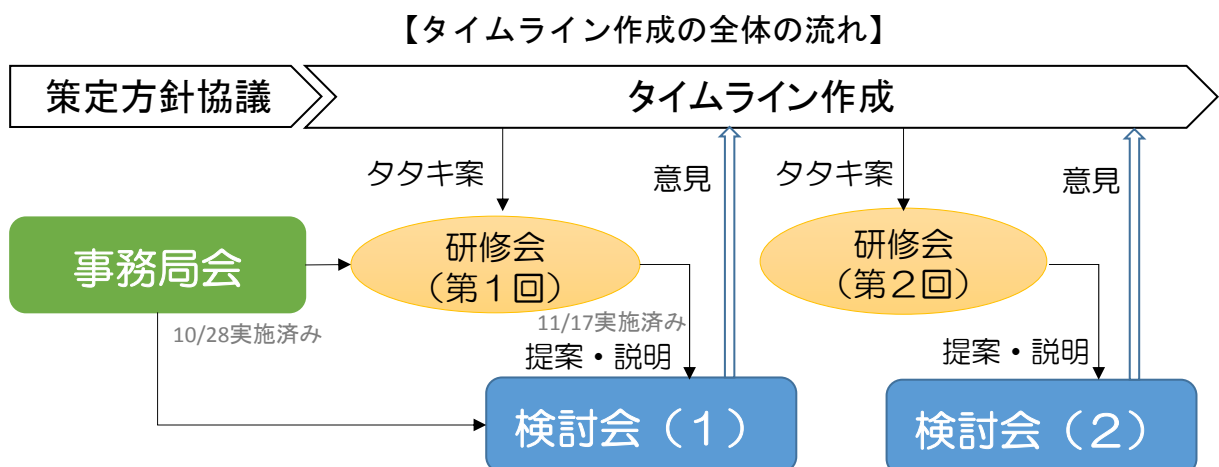
現在、都市圏（東京都荒川流域、名古屋市庄内川流域）を中心に先行的な検討が進められているが、農漁村地域での取組みがないことから、六角川流域における事前防災行動計画（タイムライン）の作成に取り組むこととなり、モデル地区として小城市に協力して頂くこととなった。

## 2. 検討会の目的

平成 26 年度に実施する「六角川流域事前防災行動計画（タイムライン）検討会」では、小城市をモデル地区に台風性豪雨による洪水に対応したタイムラインを関係機関と共に作成し、また、同時生起が考えられる土砂災害や高潮災害への適用や、他自治体への展開における留意事項を整理することで、防災関係機関の事前防災行動の見える化や連携行動の確認を行い、迅速な災害対応行動の実現を図ることを目的としている。

## 3. 全体の流れ

タイムラインは、「事務局会」、「研修会」、「六角川流域事前防災行動計画検討会」の 3 つの組織により検討を推進する。検討の流れを下図に、各会議の目的を次ページ表に示す。



【各会の構成と位置付け】

区分	構成	各会等の目的
事務局会 (10/28 実施済)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小城市（総務課）</li> <li>・武雄河川事務所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムライン作成方針の決定</li> <li>・検討条件（被災シナリオ）の設定</li> <li>・本年度成果イメージの設定</li> </ul>
研修会【全2回】 (第1回 11/17 実施済)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小城市 (全水防班長ほか)</li> <li>・武雄河川事務所</li> <li>・佐賀地方気象台</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風性豪雨災害に対する小城市タイムライン（案）の作成</li> <li>・関係機関との連携事項の抽出</li> <li>・対応項目の整理、対応実現のための必要事項の整理</li> </ul>
六角川流域事前防災行動計画（タイムライン）検討会【全2回】	<p>学識者 自治体 (小城市、多久市、武雄市、白石町、江北町、大町町) 佐賀県 佐賀地方気象台 佐賀県警 日本放送協会佐賀放送局 株ケーブルワン 株多久ケーブルメディア 九州防災エキスパート会 NPO 法人技術交流フォーラム 陸上自衛隊 西日本高速道路(株)九州支社 九州電力(株)佐賀支店 (一社)佐賀県LPガス協会 佐賀東部水道企業団 JR九州 佐賀鉄道部 唐津海上保安部 国土交通省（佐賀国道事務所、筑後川河川事務所、武雄河川事務所）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小城市タイムライン（案）についての助言</li> <li>・関係機関の連携項目、タイミング、所要時間の作成</li> <li>・他自治体への展開と、その他災害への適用を見据えた留意事項の整理</li> </ul>

【検討会メンバー】

検討会委員	
学識者	荒牧軍治佐賀大学名誉教授
	渡邊訓甫佐賀大学名誉教授
	北川慶子聖徳大学教授
	大串浩一郎佐賀大学教授
小城市	総務課長
多久市	防災安全課長
武雄市	安全安心課長
大町町	総務課長
江北町	総務企画課長
白石町	総務課長
佐賀県	河川砂防課副課長
	道路課技術監
	消防防災課副課長
	農山漁村課技術監
	危機管理・広報課参事
佐賀地方気象台	水害対策気象官
佐賀県警	警備第二課長
日本放送協会佐賀放送局	放送部長
(株) ケーブルワン	クリエイティブ事業部長
(株) 多久ケーブルメディア	技術営業部次長
九州防災エキスパート会	佐賀地区リーダー
NPO 法人技術交流フォーラム	防災部会長
陸上自衛隊	第4特科連隊連絡幹部
西日本高速道路(株)九州支社	佐賀高速道路事務所副所長
九州電力(株)佐賀支社	総務グループ 副長
	計画管理グループ
西日本電信電話(株)佐賀支店	サービス運営・災害対策担当課長
佐賀ガス(株)	供給部次長
(一社)佐賀県LPガス協会	課長
佐賀東部水道企業団	水道技術管理者
JR九州 佐賀鉄道部	助役
唐津海上保安部	警備救難課長
国土交通省	筑後川河川事務所副所長
	佐賀国道事務所副所長
	武雄河川事務所長

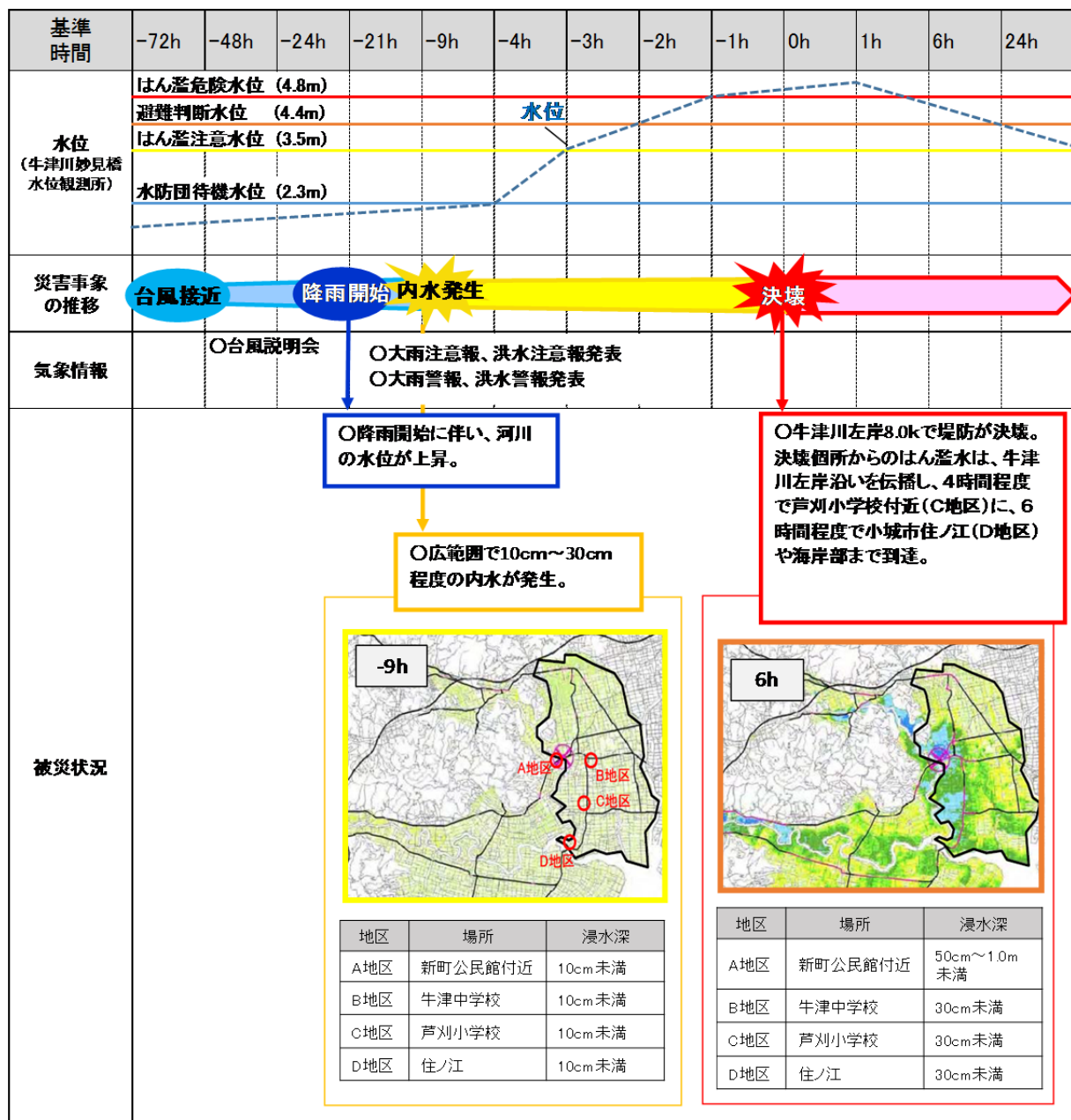
オブザーバー	
佐賀市	消防防災課長
唐津市	危機管理防災課長
伊万里市	土木管理課長
鹿島市	総務課長
神崎市	防災危機管理課長
嬉野市	総務課長
みやき町	総務課長
上峰町	総務課長
吉野ヶ里町	総務課長
有田町	総務課長
玄海町	総務課長
太良町	総務課長
アドバイザー（講師）	
C e M I 環境・防災研究所	松尾一郎副所長
事務局	
国土交通省	武雄河川事務所
小城市	総務課
パシフィックコンサルタンツ（株）	

#### 4. 小城市タイムライン（1次案）の前提条件

小城市タイムライン（1次案）の前提とする災害誘因は「台風性豪雨」とするが、災害の様相は佐賀平野大規模浸水危機管理計画で設定した、「平成2年7月洪水に相当する内水及び外水（牛津川左岸8.0kの決壊）の発生」とする。

下図に、「水位」「災害事象の推移」「気象情報」「被災状況」を記載した災害シナリオを示す。なお、基準時間は、外水発生タイミングを0hとし、外水発生前を「マイナス時間（-〇h）」、外水発生後を「プラス時間（〇h）」としている。（例えば、外水発生9時間前（-9h）に内水発生、21時間前（-21h）に降雨開始となる。）

【災害シナリオ】



## 5. 検討会の進め方

### 5.1 第1回検討会

#### (1) 日時・場所

- 日 時：平成26年12月25日（木）9：30～11：30
- 会 場：小城市役所西館2階 大会議室

#### (2) スケジュール

時間	所要時間	実施内容
9：30	—	開会
9：30～9：35	5	開催の挨拶
9：35～10：25	50	講義 タイトル「タイムラインとは」 講師(アドバイザー)：CeMI 環境・防災研究所 副所長 松尾一郎
10：25～10：30	5	座長選任
10：30～10：35	5	本検討会について ・主旨説明 ・各会の位置付けについて ・小城市タイムライン(1次案)の前提条件 ・本検討会の実施内容について
10：35～10：55	20	小城市タイムライン(1次案)について ・小城市タイムライン(1次案)の作成経緯について ・小城市タイムライン(1次案)について
10：55～11：25	30	討議 ・小城市タイムライン(1次案)について質疑応答
11：25～11：30	5	今後の予定
11：30	—	閉会

(3) 検討会の進め方

実施項目	進め方
①タイムラインの理解	・講義を通して、タイムラインの概要と国内外の取組みの現状を知る。
②小城市タイムライン（1次案）の共有	・研修会で作成された小城市タイムラインについて、作成上のポイント等を市より説明頂く。
③2つの立場での意見出し i) <b>基礎的自治体の立場</b> から、事前防災行動に対する「行動項目の過不足」、「行動のタイミング」、「行動のきっかけ」、「行動にかかる時間の目安」に関する助言。 ii) <b>関係機関の立場</b> から、自治体への連携・協力に関する「行動項目の過不足」、「行動のタイミング」、「行動のきっかけ」、「行動にかかる時間の目安」に関する意見出し。	・関係機関間で共有すべき事項の確認とともに、討議により助言・意見を頂く。 ・後日、行動項目記入表に意見を頂き事務局へ送付して頂く。（記入の方法については資料5）

## 5.2 第2回検討会

(1) 日時・場所 (予定)

- 日 時：平成27年2月下旬
- 会 場：小城市役所西館2階 大会議室

(2) スケジュール (未定)

(3) 検討会の進め方 (予定)

実施項目	進め方
①土砂災害、高潮災害を踏まえた小城市タイムライン(2次案)の共有	・第2回研修会で作成した小城市タイムライン(2次案)について、追加した事前防災行動等を市より説明頂く。
②2つの立場での意見出し i) <b>基礎的自治体の立場</b> から、土砂災害、高潮災害を踏まえた事前防災行動に対する「行動項目の過不足」、「行動のタイミング」、「行動のきっかけ」、「行動にかかる時間の目安」に関する助言。 ii) <b>関係機関の立場</b> から、土砂災害、高潮災害を踏まえた自治体への連携・協力に関する「行動項目の過不足」、「行動のタイミング」、「行動のきっかけ」、「行動にかかる時間の目安」に関する意見出し。	・関係機関間で共有すべき事項の確認とともに、討議により助言・意見を頂く。
③他自治体への適用に向けた留意事項の意見出し	・関係機関間で共有すべき事項の確認とともに、討議により意見を頂く。